

かみのさわししおどり

神ノ沢鹿踊

指定種別：市指定文化財

指 定 日：平成 29 年 3 月 29 日

所 在 地：釜石市鶴住居町

保持団体：新田神ノ沢町内会

開 始：元禄年間(1688～1703)

公開機会：鶴住神社例大祭、
釜石市郷土芸能祭等



約 330 年前、元禄年間(1688～1703)に房州出身の唯喜伝治が栗林町沢田に住みつき、砂子畑や沢田の若者に鹿踊を教えました。神ノ沢の萬藏という人も唯喜伝治から鹿踊を教わり、それが神ノ沢鹿踊の始まりと伝えられています。

萬藏という人は、人に優れて覚えはよく、笛・太鼓・唄・踊りの極意を納め、鹿踊の天才でした。

旧鶴住居村では最も古い芸能で、各神社の丁印（神社の最初に歌や踊りを奉納する芸能）として、祭典の時には神ノ沢鹿踊だけで参拝と踊りを奉納し、祭りを盛(か)らせたといわれています。

